

日本版 E S T A (電子渡航認証システム)

- 訪日を希望する外国人（観光など短期滞在を目的とした査証免除国・地域の者等を対象）について、渡航前に、入管庁に対して渡航目的や滞在先等の情報を提供させ、事前にチェックを行うシステム。
- 電子渡航認証を受けていない者は航空機に搭乗不可。認証を受けている者は所要のチェックの後ウォークスルー型のゲートを通過しての入国が可能となり、入国審査待ち時間の大幅削減が見込まれる。
- 訪日外国人旅行者数を2030年までに6,000万人とする政府目標を踏まえ、検討を進める。

現行

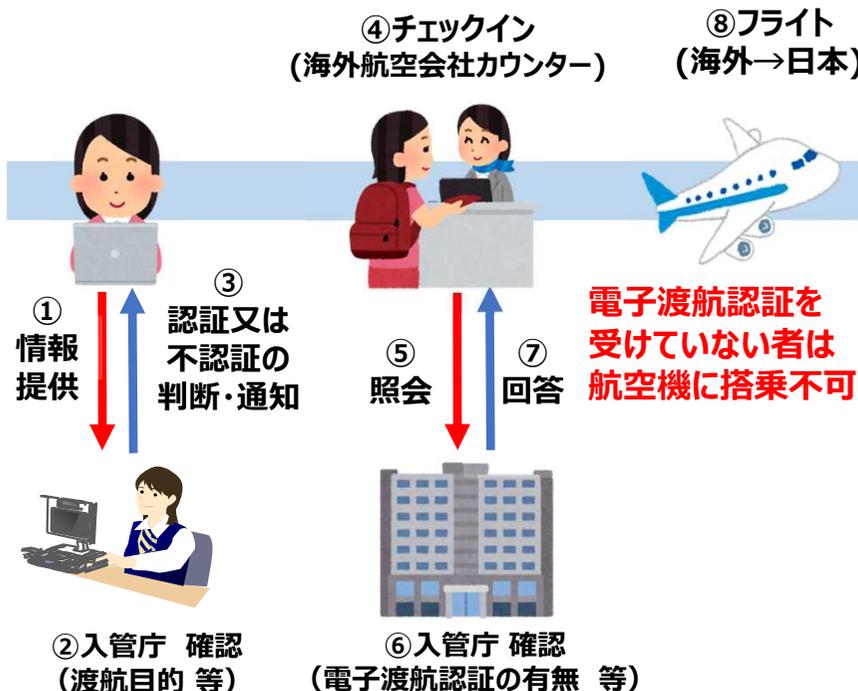
①チェックイン (海外航空会社カウンター) ②フライト (海外→日本) ③入国審査 (日本)



<諸外国での電子渡航認証システムの導入状況>

国名	名称	運用開始日
米国	ESTA	2009年1月
カナダ	ETA	2016年11月
豪州	ETAS	1996年
ニュージーランド	NZeTA	2019年8月
韓国	K-ETA	2021年9月
イスラエル	ETA-IL	2024年7月
英国	UK ETA	2025年1月
EU	ETIAS	2025年予定

導入後 (イメージ)



自動審査端末で指紋、顔写真を取得
↓
チェックの結果問題なければウォークスルーゲート型の機器を通過して入国

(2025年1月現在 入管庁調べ)